

イネカムシの発生に注意!

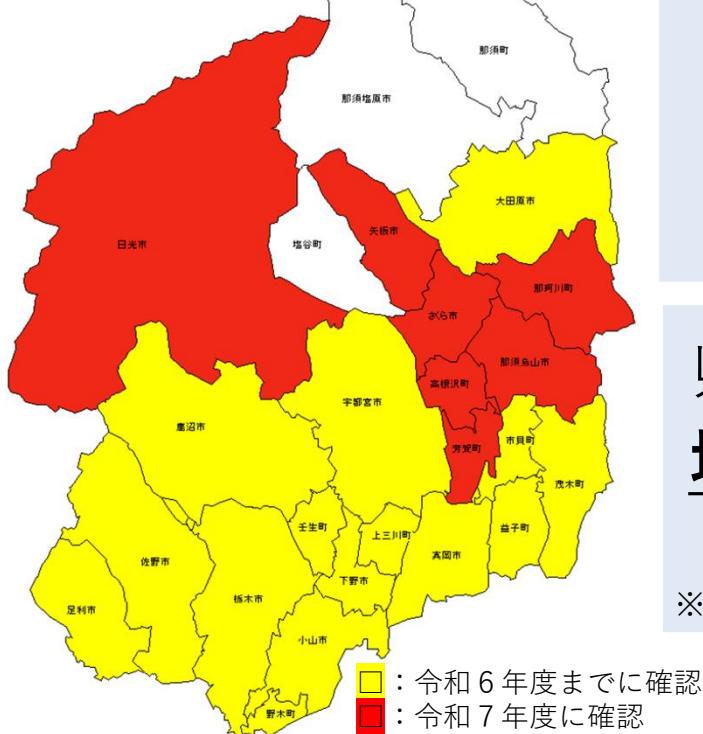
令和8年2月 塩谷南那須農業振興事務所

イネカメムシの 発生地域が 拡大しています！



イネカメムシの発生状況

本県における発生状況



確認市町は増加
R6:15/25市町 (60%)
→R7:22/25市町 (84%)

県北部へ発生拡大 塩谷南那須地域_(※)でも 発生を確認

※矢板市、さくら市、高根沢町、那須烏山市、那珂川町

(農業総合研究センター防除課調べ)

イネカメムシによる被害

イネカメムシが出穂期に稲を加害すると**不稔米**の発生が増加します。
また、乳熟期に加害すると**基部斑点米**で**品質が低下**します。

出穗期

不穏で 収量低下



乳熟期

基部斑点米で 品質低下



イネカメムシの防除対策

従来の対策に加え、新たな対策が必要です

発生予察情報による適期防除

被害が発生していない地域でも、イネカメムシがいる可能性があります。県HP「カメムシ防除作戦」内の予察情報を注視し防除に活かしましょう。



栃木県HPカメムシ防除作戦

出穂期の防除をプラス！

不稔を防止するためには、通常の乳熟期の防除に加え、**出穂期の防除**が必要です。



出穂前2回草刈りは継続

従来の斑点米カメムシ防除の基本である「①出穂2～3週間前の草刈り+②出穂期頃の草刈り」は、今までどおり行いましょう。



イネカメムシ薬剤防除時期

生育ステージを確認して適期に防除を実施しましょう！

